

Japón en México

こんにちは。メキシコシティも10月を迎えたあたりから、朝晩の気温の低下が感じられます。日本ほど顕著ではないですが、道の葉や空気から少しずつ季節の変化が見られるようになってきました。

さて今月のレポートでは、10月26日、27日に日墨会館というところで開催された「秋祭り」について書きたいと思います。

この秋祭り、一言で言うとメキシコでの日本フェスのようなものです。メキシコシティにある日墨会館というところで開催されました。会場にはメキシコシティの日本食レストランのブースだけでなく、各都道府県（全てではありませんが）による屋台の出店、また日本文化を知ってもらうためのステージなど、盛りだくさんの内容でした。沖縄県人会のソーキそばやサターアンダギー、京

都の和菓子、メキシコシティではなかなか食べることのできないカレーライスなどもあり、日本人にとっても楽しめるものでした。そんな中、私は広島県人会の方にお誘いいただき、広島県人会の出店するお好み焼き屋を手伝うことになりました。当日は屋台の飾り付けから自分たちで行います。

開催日が土日ということもあり、オープンする前からたくさんの方が「お好み焼きまだ？」『焼きそば？なにそれ、食べてみたい！』と屋台に興味を持ってくれました。本当にすごい数の人だったので、お好み焼きなど焼いたこともなかったのですが、二日間でなんとか焼けるようになりました。

値段は、1枚140ペソ、ハーフサイズは70ペソで販売しました。日本円にすると1枚約700円、ハーフサイズ約400円ほどです。こちらで日本食を食べようと思うとやはり高くなってしまいますので、嬉しい値段設定だったと思います。



広島で食べるお好み焼きとほとんど同じ材料です。
天かすの代わりにコーンフレークと砕いたものを使用しました！

驚いたのは、メキシコの人々がこんなにも日本に興味を持ってきているのだ、ということです。渡航前から、メキシコは親日国であるということは知識として知っていたのですが、想像以上でした。お好み焼きを焼いていると、「広島にいったことあるよ！」「日本のアニメでなにが好き？」「まだいったことはないけど、いつか行くために日本語を勉強している」といった声をかけてもらったり、日本の料理を本当に美味しそうに食べている姿が見られたり、とても嬉しく感じました。

日本を出て、遠いメキシコにきててもこんなに身近に日本を感じることもあるんだ、メキシコの人々をも惹きつける魅力が自分の国にはあるんだ、と日本をより知ってより好きになるいい経験だったと思います。

こちらにきてもう3ヶ月が経とうとしています。この3ヶ月は本当にあっという間に過ぎてしまって、もっと1日1日を大事に過ごそうと思っています。

全学期のテストは無事にパスできたので、今学期も気合いを入れ直して頑張りたいと思います。



昨日発見した壁画アートです。メキシコにはそこら中にこのような壁があふれています。この壁は50メートルくらい続いていました。毎日アートを感じながら生活できます。